

# データ取得の進捗状況とデモと 今後の展開

2018/5/30 1515050 山本聖也

# 1. はじめに

- 本研究の大前提として生体，環境データを無線で取得できる環境を用意し，ウェアラブルな実験機器を作成することが必須となっている



- データ取得が可能となったので後程デモ

## 2. 実験機器

- e-healthのセンサ

最大9つ測定可能とのことだったが今回用いるのはこの2点

体温センサ

脈拍センサ

- 上の二つに以下のセンサを追加する

Grove (GSR Sensor)

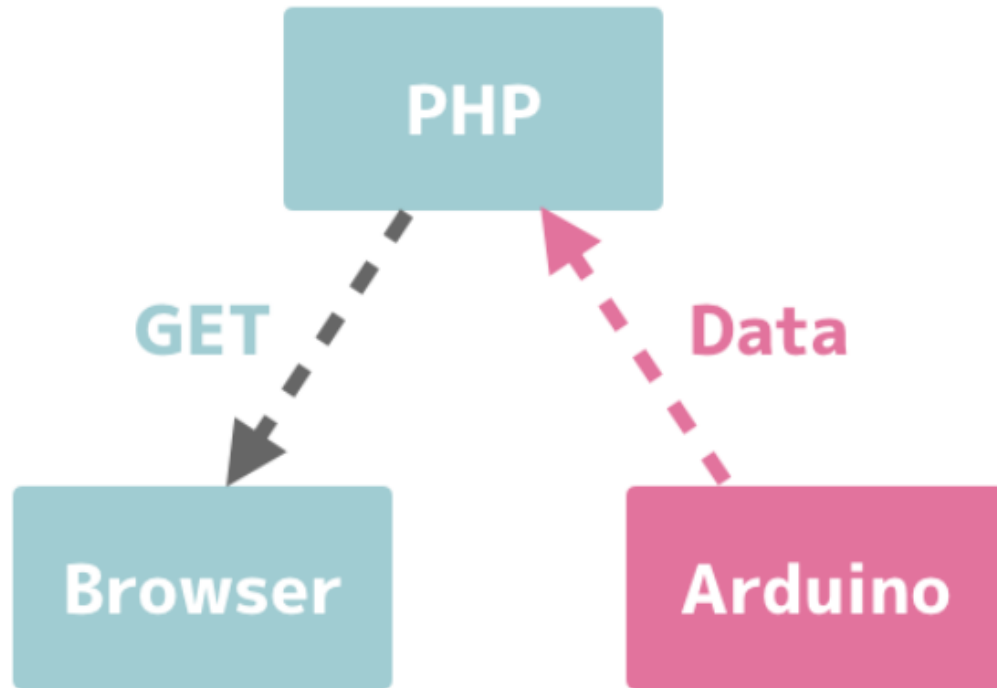
BME280(温湿度気圧センサ)

照度センサ(未定)

どちらもArduinoで動作可能, ネットにサンプルが落ちていたので追加は迅速にできると思われる.

## 4. プログラムの実行

- 今回作成したプログラムの簡易的なモデル

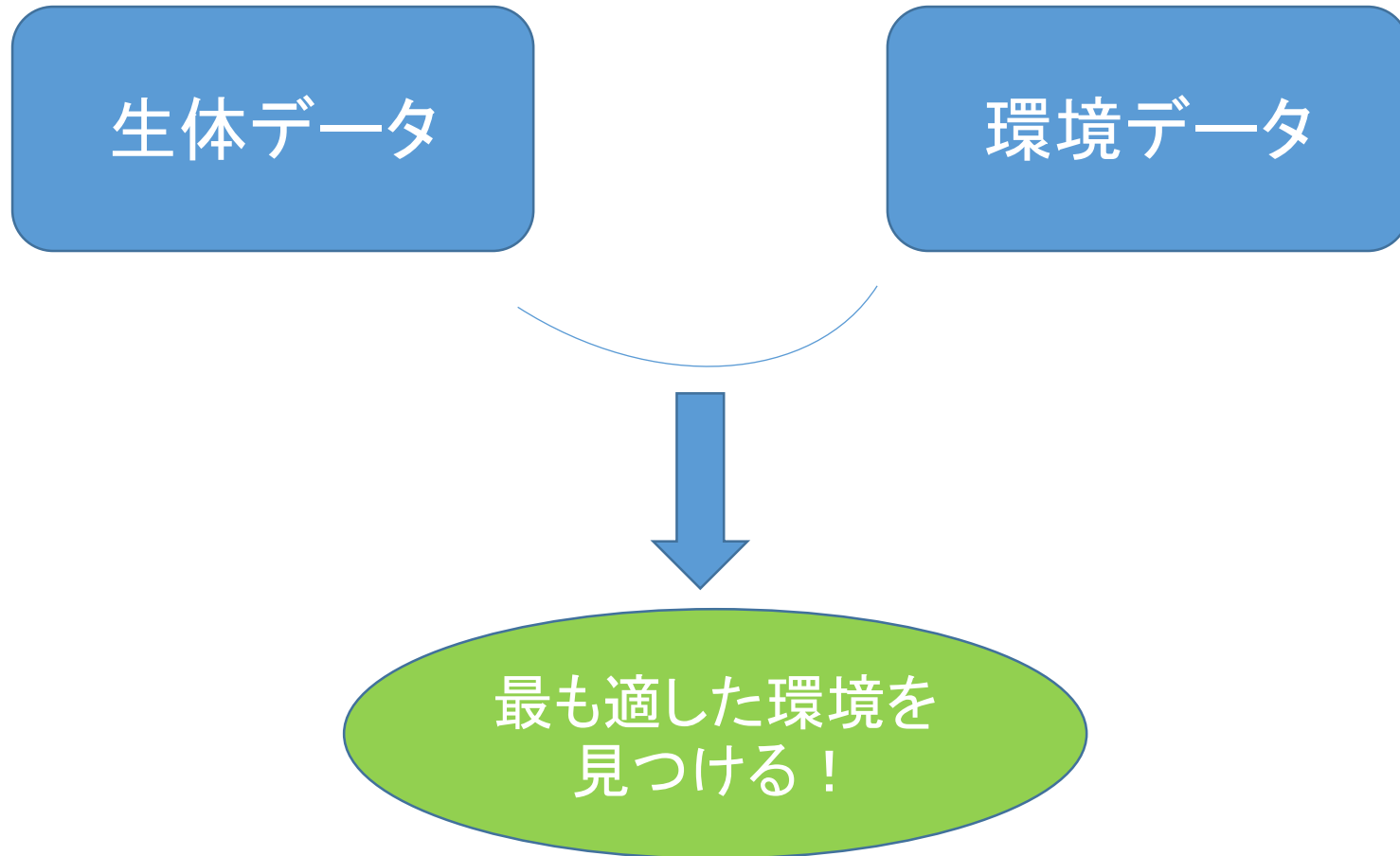


Apacheを用いてサーバーを立て、ルータを介してPHPファイルにArduinoのセンサデータを送信する。そのデータをファイルに保存し、ブラウザでも閲覧できるものとしている

# 実際にデモを行う

- シリアルモニタ確認
- 無線で行う
- Gnuplotで描画

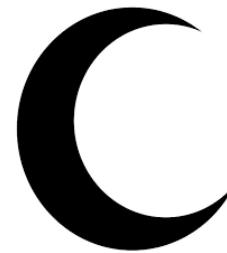
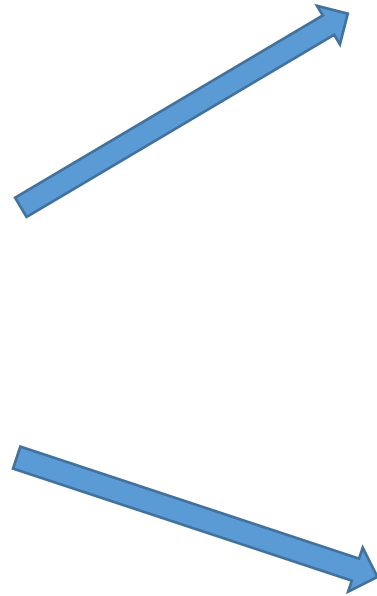
## 5. 研究内容について



例



英単語を覚える



どちらが効率よく覚えれるか

## 6. おわりに

- 今後の課題

理論の勉強(最優先)

現段階ではデータのリアルタイムでの可視化ができていないので前期中にリアルタイムWEB作成

実験方法を具体的に考える

センサを揃えてある程度データを蓄積してその傾向を知る(どの状況でどうなるか)